

チームで挑む放射線治療

～弘前大学医学部附属病院の取組～

弘前大学医学部附属病院は、年間延べ18,000件と、青森県内で最も多くの放射線治療を行っています。日々治療に取り組む医師、技師の皆さんにお話を伺いました。



当院では、7名の放射線治療医を有し（2025年11月現在）、医師や技師、看護師や事務職員がチーム一体となって懸命に治療に取り組んでいます。

医療で使う放射線というと、レントゲン検査など、診断で用いられる印象を持たれる方が多いかもしれませんが、治療にも用いられていることを、もっと多くの方に知っていただきたいと思っています。



弘前大学大学院 医学研究科
放射線腫瘍学講座
青木 昌彦(あおき まさひこ)教授

■弘前大学医学部附属病院が対応している放射線治療

対応している治療	治療法名	主な対象疾患
外部照射	外部放射線治療（リニアック）	脳腫瘍、肺がん、頭頸部がん、食道がん、乳がん、子宮がんなど、広範な疾患に対応
	強度変調放射線治療（Radixact(ラディザクト)X9)	頭頸部がん、前立腺がん、悪性脳腫瘍、限局性固形悪性腫瘍 など
	体幹部定位放射線治療	早期肺がん、転移性肺がん、オリゴ転移、脊髄動脈静脈奇形 など
内部照射	密封小線源治療★1	子宮がん、前立腺がん など
内用療法	RI内用療法★2	甲状腺がん、パセドウ病、骨への転移、神経内分泌腫瘍 など

★1:県内唯一実施 ★2:県内唯一の専用病棟を完備

放射線治療は「治す治療」であり「支える治療」でもあります。患者さんに必要な治療法を共に考え、寄り添いながら、その方に合った最善の医療を提供したいと思っています。大切な人を守るため、ぜひご相談ください。



青木教授を囲む放射線技師の皆さん



医師、技師、看護師によるカンファレンスで常にチーム医療体制



医学生への教育にも力を注いでいます

副診療放射線技師長

駒井 史雄(こまい ふみお)さん

1日40～50人程度の患者さんの治療を行っています。患者さんが苦痛に感じないよう、少しでも早くセットアップし治療時間を短くするように努めています。

“なるべく断らない”をモットーに、当院に来てくれた患者さんの治療は全部受ける意気込みで対応しており、業務の終了時間が遅くなることもありますが、患者さんが治療最終日に元気で帰るのを見るのは、大変大きな喜びです。

困ったときは、親身に相談にのりたいと思いますので、ぜひ当院へお越しください。

放射線技師

岡部 華佳(おかべ はるか)さん ◎配属2年目

当院には元々実習で来て、チームのアウトホームな雰囲気を感じました。

放射線は目に見えないため、緊張感をもち、常にダブルチェック体制で業務を行っています。

他職種と連携をとりながら、それぞれの患者さんに適した治療を提供することに、とてもやりがいを感じています。

患者さんとは日常会話をし、治療中には、患者さんのリクエストした曲を探してきては流して、リラックスしていただけるよう努めています。



業務ではダブルチェックを欠かさず行います



弘前大学医学部附属病院 放射線治療科

〒036-8563 青森県弘前市本町53
TEL 0172-39-5280
(放射線治療科外来)



弘前大学医学部附属病院 がん相談支援センター

常勤の相談員2名が、放射線治療を含め、がんに関する様々な相談のついでにしています。

どなたでも対面、電話で相談でき、費用は無料です。県内でこの病院が通じているか、病院の得意分野など、様々な相談ができますので、ぜひご利用ください。

【開設時間】月～金 8:30～17:00
【問合せ先】TEL 0172-39-5174(直通)



放射線治療については「原子力だより A E 164号」の特集記事も併せてご覧ください。



青森県環境エネルギー一部原子力立地対策課
〒030-8570 青森市長島1-1-1 TEL 017-734-9738
E-mail g-richi@pref.aomori.lg.jp